

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-232658

(43)Date of publication of application : 02.09.1998

(51)Int.Cl. G09G 5/00
G09G 5/00
G09G 5/00

(21)Application number : 09-336783

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 08.12.1997

(72)Inventor : SUGANO HIRONORI

(30)Priority

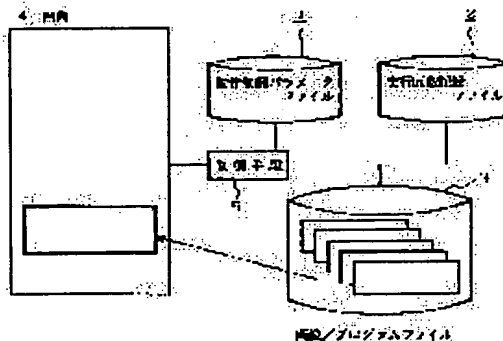
Priority number : 08341676 Priority date : 20.12.1996 Priority country : JP

(54) DISPLAY CHANGEOVER SYSTEM AND RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to automatically display an image at random by a single registration of an image or parameter setting by contorting the display of an image corresponding to identification information of a file or an execution time of the program based on an operation control parameter file.

SOLUTION: A control means sets identification information on plural files storing images or programs and their displays, or their execution time into an operation control parameter file 1. And, it controls the display of an image corresponding to the identification information or the execution time of the program based on the operation control parameter file 1. Based on the operation control parameter file 1 setting a display time, a display frequency, a date and time of start/end of the display, etc., a corresponding file by a random number is automatically selected from the image/program film, and is recorded in a display or execution frequency recording file 2. Thus, troubles for rewriting operation and transposition of image are eliminated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 29.09.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 26.08.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-232658

(43)公開日 平成10年(1998) 9月2日

(51)Int.Cl.⁶

G 0 9 G 5/00

識別記号

5 1 0

5 3 0

5 5 0

F I

G 0 9 G 5/00

5 1 0 B

5 3 0 T

5 5 0 B

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平9-336783

(22)出願日 平成9年(1997)12月8日

(31)優先権主張番号 特願平8-341676

(32)優先日 平8(1996)12月20日

(33)優先権主張国 日本 (J P)

(71)出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72)発明者 菅野 浩徳

宮城県仙台市青葉区一番町3丁目3番5号

株式会社富士通東北システムエンジニア

リング内

(74)代理人 弁理士 岡田 守弘

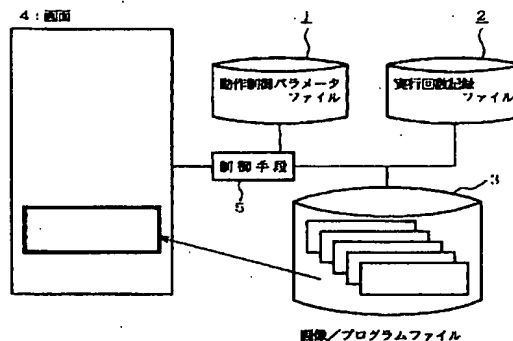
(54)【発明の名称】 表示切替システムおよび記録媒体

(57)【要約】

【課題】 本発明は、画像の表示を切り替える表示切替システムおよび記録媒体に関し、表示時間、表示回数、表示開始/終了日時などを設定した動作制御パラメータをもとに画像ファイルから乱数によって該当ファイルを自動選択して表示および実行回数記録ファイルに記録し、一度の画像登録やパラメータ設定により画像をランダムに自動表示し従来のHTMLの書換え作業や画像の入換えの手間を無くことを目的とする。

【解決手段】 画像あるいはプログラムを格納した複数のファイルの識別情報およびその表示あるいは実行する時間を設定する動作制御パラメータファイルと、動作制御パラメータファイルに基づいてファイルの識別情報に対応する画像の表示あるいはプログラムの実行時間を制御する手段とを備えるように構成する。

本発明のシステム構成図



【特許請求の範囲】

【請求項1】画像の表示を切り替える表示切替システムにおいて、
 画像あるいはプログラムを格納した複数のファイルの識別情報およびその表示あるいは実行する時間を設定する動作制御パラメータファイルと、
 上記動作制御パラメータファイルに基づいてファイルの識別情報に対応する画像の表示あるいはプログラムの実行時間を制御する手段とを備えたことを特徴とする表示切替システム。

【請求項2】画像の表示を切り替える表示切替システムにおいて、
 画像あるいはプログラムを格納した複数のファイルの識別情報、その表示あるいは実行する目標回数を設定する動作制御パラメータファイルと、
 上記ファイルの識別情報に対応づけて表示あるいは実行の回数を記録する実行回数記録ファイルと、
 画像の表示あるいはプログラムの実行を行うと共に上記実行回数記録ファイルの該当する回数を更新する更新手段と、
 上記目標回数と実行回数とに基づいて、次に画像の表示あるいはプログラムの実行を行うファイルの選択を制御する手段とを備えたことを特徴とする表示切替システム。

【請求項3】上記動作制御パラメータファイルは、画像の表示あるいはプログラムの実行の開始日時および終了日時を設定し、上記制御する手段は当該開始日または時刻から終了日または時刻までの間のみ上記画像の表示あるいはプログラムの実行を行うファイルの選択の制御を行うことを特徴とする請求項2記載の表示切替システム。

【請求項4】上記動作制御パラメータファイルは画像の表示あるいはプログラムの実行の優先度を設定し、上記制御手段は当該優先度に従って画像の表示あるいはプログラムの実行を行うファイルの選択の制御を行うことを特徴とする請求項3記載の表示切替システム。

【請求項5】画像あるいはプログラムを格納した複数のファイルの識別情報およびその表示あるいは実行する時間を設定する動作制御パラメータを設定する手段と、
 上記動作制御パラメータファイルに基づいてファイルの識別情報に対応する画像の表示あるいはプログラムの実行時間を制御する手段として機能させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像の表示を切り替える表示切替システムおよび記録媒体に関するものである。現在インターネットで主流を成すWWW(World Wide Web)システムを使ったWebページによるオンライン広告をより効果的に表示させることが要望されてい

る。テレビや雑誌などの広告と同じように広告効果は、参照頻度の多い場所程、そして掲載情報量の大きいもの程高くなるが、同時に掲載費用なども高つくことになる。この限られたスペースを複数のクライアント（広告依頼人）が、均等に順序良く表示し、うまく共用できるようにし、1クライアント当たりの費用負担を減らし、見る側によっては種々のクライアントから新鮮な情報が得られるようにし、ページにも変化がついて楽しいなどの便利な面を増やすことが望まれている。

10 【0002】

【従来の技術】従来、Webページを使ったオンライン広告は、自前でサーバを用意して掲示する方法と、インターネットサービスプロバイダなどが提供する、共用サーバ上にデータを用意して掲示する方法がある。Webページの参照頻度は、URLが容易に連想できかつ階層の上位のもの程高くなる性質がある。例えば利用者がまずaaa.co.jpを連想し、頭にwwwをつけてwww.aaa.co.jpをURLとしてアクセスしてみるだろう。最初からwww.aaa.co.jp/bbb/などの下位階層までURLで指定してアクセスする人はまれである。

20

【0003】こういった理由からWebページでは、一番最初の見出しページ（welcomeページと呼ぶ）で、なおかつ画面をスクロールしなくても表示できる先頭部分が一番目立つところとなる。この限られたスペースを複数のクライアント（広告依頼人）で共用することになる。

【0004】従来の技術では、各クライアントの広告画像をそのまま順番に並べるようにしていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の技術では、見出しページの先頭部分に各クライアントの広告画像をそのまま順番に並べて表示していたため、多くの画像を同時に取り込むことができず、転送負荷がかかり表示が遅くなるという問題があった。

30

【0006】また、クライアントの数が増えると、画面にレイアウトできず見出しページの先頭部分からはみだす場合があり、広告効果を十分に高めることができないという問題があった。

【0007】本発明は、これらの問題を解決するため、表示時間、表示回数、表示開始／終了日時などを設定した動作制御パラメータをもとに画像ファイルから乱数によって該当ファイルを自動選択して表示および実行回数記録ファイルに記録し、一度の画像登録やパラメータ設定により画像をランダムに自動表示し従来のHTMLの書換え作業や画像の入換えの手間を無くことを目的としている。

【0008】

【課題を解決するための手段】図1を参照して課題を解決するための手段を説明する。図1において、動作制御パラメータファイル1は、画像あるいはプログラムを格納したファイル名、その表示あるいは実行する時間、目

50

標回数および画像の表示あるいはプログラムの実行の開始日時および終了日時を設定するものである。

【0009】実行回数記録ファイル2は、ファイル名に対応づけて表示あるいは実行の回数を記録するものである。画像／プログラムファイル3は、ファイル名に対応づけて画像あるいはプログラムを格納するものである。

【0010】画面4は、画像を表示あるいはプログラムを実行して表示などするものである。制御手段5は、画像／プログラムファイル3から取り出して画像を表示あるいはプログラムを実行して表示などしたりするものである。

【0011】次に、動作を説明する。制御手段5が画像あるいはプログラムを格納した複数個のファイルの識別情報およびその表示あるいは実行する時間を動作制御パラメータファイル1に設定し、当該動作制御パラメータファイル1に基づいてファイルの識別情報に対応する画像の表示あるいはプログラムの実行時間を制御するようにしている。

【0012】また、制御手段5が画像あるいはプログラムを格納した複数個のファイルの識別情報、その表示あるいは実行する目標回数を動作制御パラメータファイル1に設定し、ファイルの識別情報に対応づけて表示あるいは実行の回数を記録する実行回数記録ファイル2を設け、画像の表示あるいはプログラムの実行を行うと共に実行回数記録ファイル2の該当する回数を更新し、目標回数と実行回数とに基づいて、次に画像の表示あるいはプログラムの実行を行うファイルの選択を制御するようにしている。

【0013】また、動作制御パラメータファイル1に、画像の表示あるいはプログラムの実行の開始日時および終了日時を設定し、制御手段5が開始日または時刻から終了日または時刻までの間のみ画像の表示あるいはプログラムの実行を行うファイルの選択の制御を行うようにしている。

【0014】また、動作制御パラメータファイル1に、画像の表示あるいはプログラムの実行の優先度を設定し、制御手段5が優先度に従って画像の表示あるいはプログラムの実行を行うファイルの選択の制御を行うようにしている。

【0015】また、コンピュータを動作させて、画像あるいはプログラムを格納した複数個のファイルの識別情報およびその表示あるいは実行する時間を設定する動作制御パラメータを設定する手段と、動作制御パラメータファイル1に基づいてファイルの識別情報に対応する画像の表示あるいはプログラムの実行時間を制御する手段とを機能させるプログラムを記憶媒体に格納し、販売などするようにしている。

【0016】従って、表示時間、表示回数、表示開始／終了日時などを設定した動作制御パラメータファイル1をもとに画像／プログラムファイル3から乱数によって

該当ファイルを自動選択して表示および実行回数記録ファイル2に記録することにより、一度の画像登録やパラメータ設定により画像をランダムに自動表示し従来のHTMLの書換え作業や画像の入換えの手間を無くことが可能となる。

【0017】

【発明の実施の形態】次に、図2から図6を用いて本発明の実施の形態および動作を順次詳細に説明する。ここで、記録媒体あるいは外部記憶装置であるハードディスク装置などから読み出したプログラム、または、センタの外部記憶装置から回線を介して転送を受けたプログラムを主記憶にローディングして起動し、以下に説明する各種処理を行うようにしている。

【0018】図2は、本発明の動作説明フローチャートを示す。図2において、S1は、URL指定する。S2は、javaプログラム（アプレット）の転送を要求する。

【0019】S3は、サーバがクライアントからのjavaプログラムの転送要求に対応して、javaプログラム（アプレット）をクライアントに転送する。S4は、プログラム実行開始する。これは、S3で転送されたjavaプログラムを実行開始する。

【0020】S5は、動作制御パラメータファイル1の転送を要求する。S6は、サーバがクライアントからの動作制御パラメータファイル1の転送の要求に対応して、動作制御パラメータファイル1を転送する。

【0021】S7は、実行回数記録ファイル2の有無を判別する。YESの場合には、S9に進む。一方、S7のNOの場合には、S8で実行回数記録ファイル2の作成及び実行回数記録ファイル2の(y)の表示回数および(z)の最終実行日時のデータの初期化を行い、S9に進む。

【0022】S9は、実行回数記録ファイル2の転送を要求する。S10は、S9の要求に対応して、サーバが実行回数記録ファイル2を転送する。

【0023】S11は、動作制御パラメータファイル1の(e)の表示時間と、実行回数記録ファイル2の(y)の表示回数とを比較する。y=eの場合には、S12で動作制御パラメータファイル1の該当レコードをメモリ上から抹消し、S13に進む。

【0024】S13は、動作制御パラメータファイル1の(f)の表示開始日時と(g)の表示最終日時から日付け範囲内かどうかを比較する。YESの場合には、S15に進む。NOの場合には、S14で動作制御パラメータファイル1の該当レコードをメモリ上から抹消し、S15に進む。

【0025】S15は、動作制御パラメータファイル1の表示優先度(d)の総和を求めてその総和内で乱数を発生する。S16は、乱数に対応する優先度のレコードを取り出す。例えば201ならn=2のレコードを取り

出す。

【0026】S17は、動作制御パラメータファイル1の(a)のフラグがプログラムファイルか画像ファイルかの判別する。P(プログラムファイル)の場合には、S18にないしS14に進む。F(画像ファイル)の場合には、S26ないしS33に進む。

【0027】S18は、S17でP(プログラムファイル)と判明したので、当該プログラムファイルの転送を要求する。S19は、サーバがクライアントからのプログラムファイルの転送要求に対応して、該当プログラム

ファイルを転送する。
【0028】S20は、実行時間タイマをセットする。S21は、プログラムの実行する。S22は、タイムアウトか判別する。YESの場合には、S23に進む。NOの場合には、S21を繰り返す。

【0029】S23は、メモリ内の実行回数記録ファイル2を更新する。S24は、実行回数記録ファイルの更新要求を行う。S25は、サーバが実行回数記録ファイルを更新する。そしてS11に戻り繰り返す。

【0030】S26は、S17でF(画像ファイル)と判明したので、当該画像ファイルの転送を要求する。S27は、サーバがクライアントからの画像ファイルの転送要求に対応して、該当画像ファイルを転送する。

【0031】S28は、実行時間タイマをセットする。S29は、画像の表示する。S30は、タイムアウトか判別する。YESの場合には、S31に進む。NOの場合には、S29を繰り返す。

【0032】S31は、メモリ内の実行回数記録ファイル2を更新する。S32は、実行回数記録ファイルの更新要求を行う。S33は、サーバが実行回数記録ファイルを更新する。そしてS11に戻り繰り返す。

【0033】以上によって、URL指定してjavaプログラムのダウンロードを受けて実行し、動作制御パラメータファイル1、実行回数記録ファイル2のダウンロードを受け、実行回数記録ファイル2の表示回数(y)と、動作制御パラメータファイル1の目標表示回数(e)とを比較し等しくなったレコードを抹消し、表示開始日時(f)と表示終了日時(g)との範囲内でないときにレコードを抹消し、表示優先度(d)の総和を求めてその総和内で乱数を発生して乱数に対応するレコードを取り出し、取り出したレコードがP(プログラムファイル)の場合にプログラムファイルの転送を受けてタイムアウトするまで実行して実行回数記録ファイル2を更新、および取り出したレコードがF(画像ファイル)の場合に画像ファイルの転送を受けてタイムアウトするまで実行して実行回数記録ファイル2を更新することが可能となる。

【0034】図3は、本発明の動作制御パラメータファイル例を示す。この動作制御パラメータファイル1は、図示の項目について下記のように設定する。

番号 : 0
(a) フラグ : F
(b) ファイル名 : fig1
(c) 表示時間 : 10秒
(d) 表示優先度 : 100
(e) 目標表示回数 : 400
(f) 表示開始日時 : 961101:0000000
(g) 表示終了日時 : 971031:235959

図4は、本発明の実行回数記録ファイル例を示す。この実行回数記録ファイル2は、図示の項目について下記のように設定する。

【0035】
(x) ファイル名 : fig1
(y) 表示回数 : 5
(z) 最終実行日時 : 961110:121009

図5は、本発明の1実施例構成図を示す。

【0036】図5の(a)は、実行前の状態を示す。この実行前の状態では、サーバ21に動作制御パラメータファイル22、実行回数記録ファイル23、画像ファイル24、プログラムファイル25が図示のように格納されている。

【0037】図5の(b)は、実行時の状態を示す。この実行時の状態では、既述した図2のS1ないしS33によって、サーバ21上の動作制御パラメータファイル22、実行回数記録ファイル23、画像ファイル24、およびプログラムファイル25が転送されてクライアント11上で動作制御パラメータファイル18、実行回数記録ファイル19、画像ファイル20、アプレット12として格納(展開)されている。

【0038】ここで、アプレット12は、サーバ21のプログラムファイル25を転送して動作し得るようにした状態を示し、ここでは、対象ファイル決定手段13、実行手段14、実行回数更新手段15、タイマ手段16などから構成されるものである。

【0039】対象ファイル決定手段13は、乱数を用いて動作制御パラメータファイル1中の画像ファイルあるいはプログラムファイルを決定するものである(図2参照)。

【0040】実行手段14は、対象ファイル決定手段13によって決定された画像ファイルを表示したり、プログラムファイルを実行したりなどするものである。実行回数更新手段15は、実行回数を更新するものであって、実行回数記録ファイル2を更新するものである。

【0041】タイマ手段16は、所定時間を経過したかを計測するものである。以上の構成のもとで、既述した図2のフローチャートに従い動作するものである。

【0042】図6は、本発明の表示/実行例を示す。図6の(a)は、画像の表示例を示す。図6の(a-1)は、ある状態で画像ファイルfig1の画像Aを表示した状態を示す。

【0043】図6の(a-2)は、10秒後に画像ファイルfig2の画像Bを表示した状態を示す。図6の(b)は、プログラムの実行例を示す。

【0044】図6の(b-1)は、ある状態でプログラムファイルPGM1のプログラムを実行し、図示のように表示されたトランペットが音“プッー”を発声した状態を示す。

【0045】図6の(b-2)は、8秒後にプログラムファイルPGM2のプログラムを実行し、図示のように表示されたマイクが音“本日はご来店ありがとうございます”を発声した状態を示す。

【0046】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、表示時間、表示回数、表示開始/終了日時などを設定した動作制御パラメータファイル1をもとに画像/プログラムファイル3から乱数によって該当ファイルを自動選択して表示および実行回数記録ファイル2に記録する構成を採用しているため、一度の画像登録やパラメータ設定により画像をランダムに自動表示し従来のHTMLの書換え作業や画像の入換えの手間を無くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のシステム構成図である。

【図2】本発明の動作説明フローチャートである。

【図3】本発明の動作制御パラメータファイル例である。

【図4】本発明の実行回数記録ファイル例である。

【図5】本発明の1実施例構成図である。

【図6】本発明の表示/実行例である。

【符号の説明】

1、18、22：動作制御パラメータファイル

2、19、23：実行回数記録ファイル

3：画像/プログラムファイル

4：画面

5：制御手段

11：クライアント

12：アプレット

13：対象ファイル決定手段

14：実行手段

15：実行回数更新手段

16：タイマ手段

17：メモリ

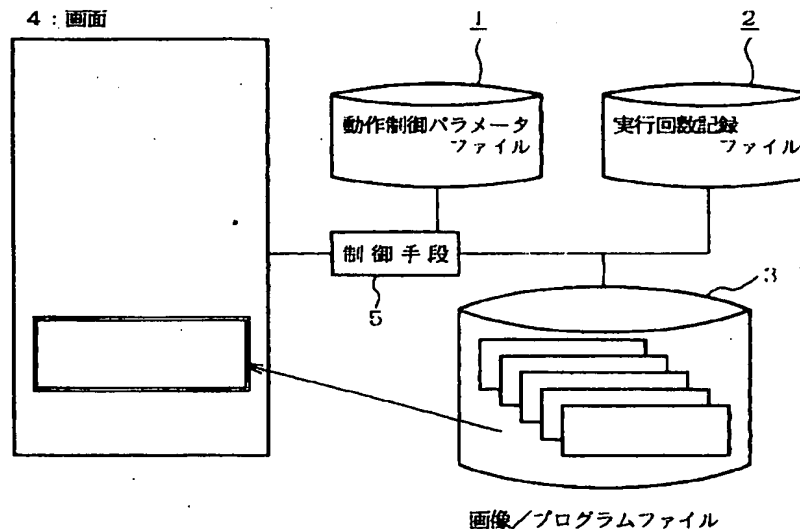
24：画像ファイル

25：プログラムファイル

31：表示装置

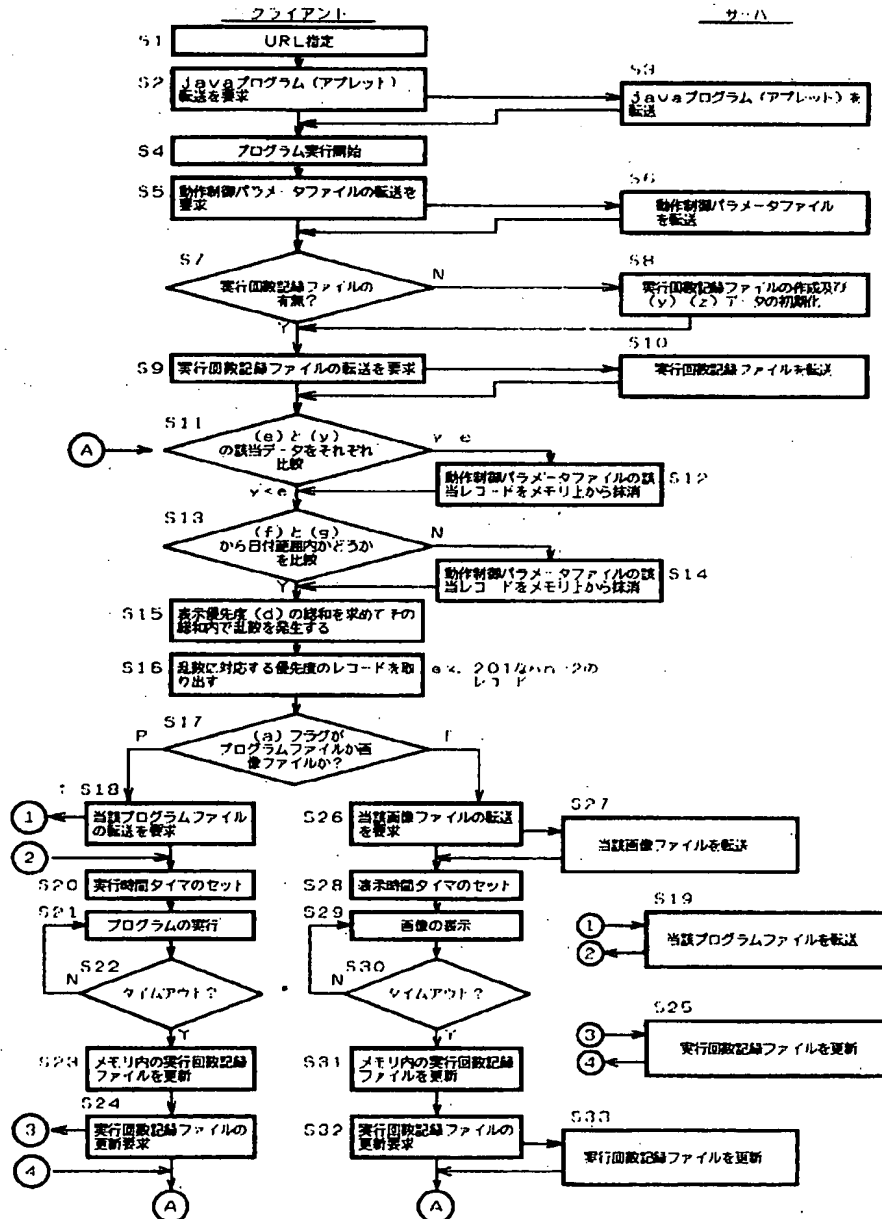
【図1】

本発明のシステム構成図



【図2】

本発明の動作説明フローチャート



【図3】

本発明の動作制御パラメータファイル例

番号 int	(a) フラグ char	(b) ファイル名 char[100]	(c) 表示時間 int	(d) 表示優先度 int(max 100)	(e) 目標表示回数 int
0	F	fig1	10	100	400
1	F	fig2	8	100	300
2	P	pgm1	10	80	300
3	P	pgm2	5	100	500
4	F	fig3	10	50	450
:	:	:	:	:	:
n	flag-n	file-n	time-n	pri n	numa-n

(f) 表示開始日時 char[13]	(g) 表示終了日時 char[13]
961101:000000	971031:235959
961101:000000	971031:235959
961101:100000	971031:235959
961101:020000	971031:235959
961101:150000	971031:235959
:	:
start-n	end-n

【図4】

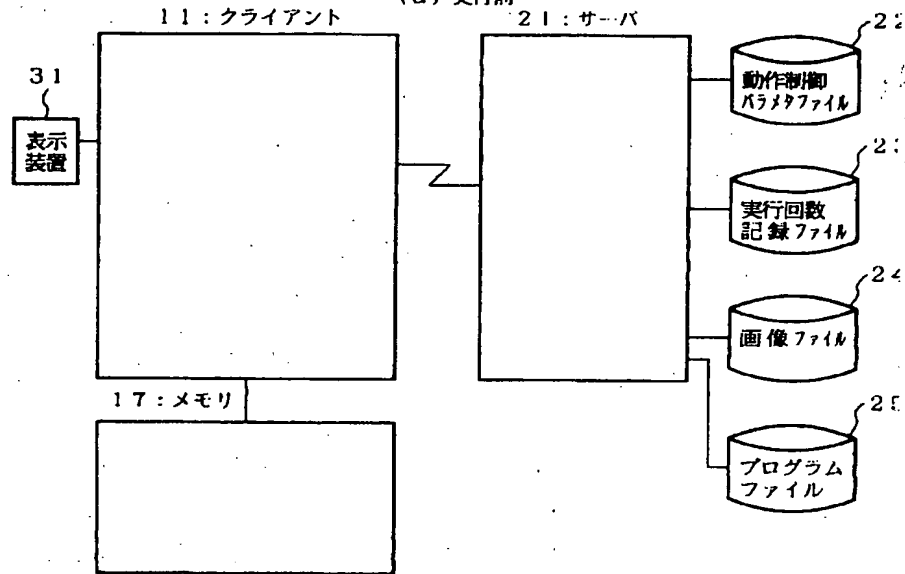
本発明の実行回数記録ファイル例

(x) ファイル名	(y) 表示回数	(z) 最終実行日時
fig1	5	961110:121009
fig2	2	961110:121010
pgm1	6	961110:120931
pgm2	2	961110:121100
fig3	2	961110:121100
:	:	:
fig-n	exec-n	times-n

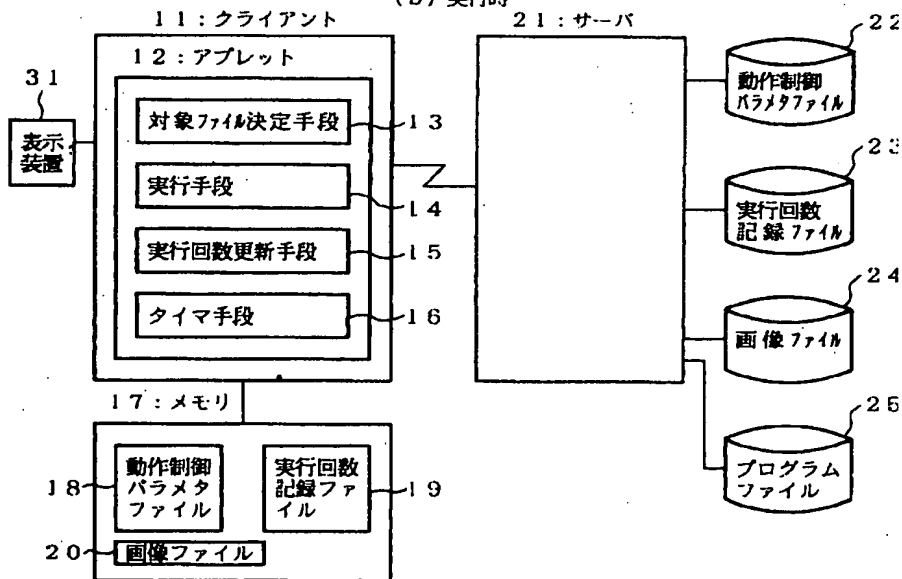
【図5】

本発明の1実施例構成図

(a) 実行前



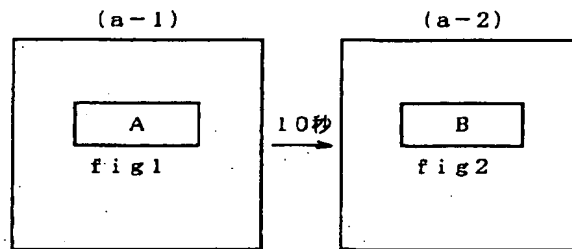
(b) 実行時



【図6】

本発明の表示／実行例

(a) 画像の表示例



(b) プログラムの実行例

